

アクセプトされたらそれで終わり？ いえいえ、

あなたの論文

オープンアクセス OPEN ACCESS

にしていますか？



研究者にとっての オープンアクセスのメリット

- インターネット上で全世界の人に無料で論文を読んでもらえる
- 論文が引用される可能性が高まる
- 研究成果を社会に還元することができる（説明責任が果たされる）
- インターネットがつながれば自分の論文をいつでも確認できる

自分の論文をオープンアクセスにするには

お金がかかる方法



投稿ジャーナルによっては、APC=論文投稿料を支払うことで、論文を出版と同時にオープンアクセスにできます。

京大所属者は**APCの割引**がある場合があります。

投稿手続きの前に、割引があるかどうかご確認ください。

お金がかからない方法

京大所属者は京大の**機関リポジトリ**“KURENAI”上で論文をオープンアクセスにできます。

登録方法は、図書館のページをご確認ください。

登録がOKかどうかなど、ご不明な点があればお問い合わせください。

詳細は、

京都大学 オープンアクセス



で検索し、下記のページへ！

京都大学図書館機構：オープンアクセスについて

http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/content0/index.php?content_id=87

★APC (Article Processing Charge) とは

ジャーナルに投稿する際、投稿者が出版社等に支払うオープンアクセス費のための投稿料。投稿ジャーナルによっては、京大所属者には割引がある。

★機関リポジトリ Institutional Repository とは

学術機関の構成員によって生産された研究成果を保存・公開するシステム。（京大の機関リポジトリは下記※）リポジトリ登録可能かどうかは投稿ジャーナルによる。さらに投稿ジャーナルによっては、公開開始時期が指定されたり、出版される版と同じ版面が使えないなどの条件がつく場合がある。

※ 京都大学学術情報リポジトリ “KURENAI” <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/>